

園長だより

2024年6月7日

園長 澄川忠男

◆子どもスタートで 考える・行動する

右の写真は、うめ組の窓に貼ってある「ねこ」です。朝晩の送り迎えの時にご覧になりましたでしょうか。写真の中の
下側に、

『「おりがみで ねこ つくりたい!」のリクエスト!

みんなで作りました。』と書いてあります。

うめ組のおたよりも書いてあったのですが、うめ組では、「お話タイム」(サークルタイムという呼び方もあります)と
いって、みんなで輪になって話す時間を確保しています。話す内容は様々ですが、そんな中で「やりたいこと」を話すこともあるようです。そのときに出た子どもたちからの意見をスタートとした取り組みです。



もう一つ紹介します。6日のホームページにも紹介したのですが、さくら組ともも組で、黒橋(線路を超える橋)を渡って桜山近隣公園に行きました。線路の向こうからは、うめ組の子どもたちが手を振ってくれました。このきっかけは、さくら組で、「線路の向こうの家にポテトがある!」というつぶやきがあったことだそうです。(某ハンバーガーチェーンの、赤い入れ物に入ったポテトに見えたのです)

そのことが、さくら組で話題になり、**確かめに行こうか!**ということがスタートで、もも組さんと一緒に行きました。実際に正体もわかり、さくら組さんは納得!私たち教員も「何だろう???'と
思っていたので納得!そのうえ、公園で異年齢で遊ぶ経験もできました。子どもたちは、とても楽しそうでした。



このように、**子どもスタートでの取り組み**は、教師からやらされるとい
うことではなく、「自分事」として取り組むので、**意欲的に行う**ことができます。私たち大人の役目は、子どもの思いをうまく引き出すことと、その思いをどのような具体的な保育・教育活動につなげていくのかという部分だと思います。

もちろん、すべてがそのような流れではないと思います。小学校・中学校~大人へという成長の過程では「やりたくないこともやる!」という経験もたくさんあります。我々大人は、なおさらです。ただ、私は、子どものうちに「なぜだろう」「おもしろい」「そうだったのか」「へえ~」という経験をたくさん仕組むことによって、その子自身の人生もおもしろいものになりそうだな~と勝手に想像しています。

※今週間は欠席や早退が多かったです。「せき」「発熱」が流行しています。全員が元気にそろそろ日を楽しみに待っています。体調が悪いお子さんの快復を願っています。